

DOD

DOPPELGANGER OUTDOOR

ワンポールテント 共通取扱説明書

型番:T3-12/44/62

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解
してからご使用ください。

また、取扱説明書は大切に保管してください。

Thank you for purchasing our product.

In order to ensure that you receive the maximum enjoyment and safety, read this instruction manual and
make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

Kindly keep this manual in a convenient place for quick reference.



製品アンケート実施中

【毎月抽選で10名様にオリジナルグッズをプレゼント!】

アンケートフォームはコチラから

ビーズ株式会社 アンケート 検索

<https://www.be-s.co.jp/abc/agree/dod/>



facebook ページ

【新製品やキャンペーンなど、お得な情報を発信中!】

facebook ページはコチラから

DOPPELGANGER OUTDOOR いいね!

<http://www.facebook.com/doppelgangeroutdoor>



ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。

- 本製品は、日よけ・小雨よけなど一時的な使用を目的として設計されています。常設にしたり強風や大雨、降雪時には絶対に使用しないでください。
- 各部の構成をよく把握し、組立順序に従って取扱ってください。
- 解体・撤去の際には、組立の逆の順序で必ず行い、手や指を挟まないようご注意ください。
- 組立設置及び、解体撤去に際しては、安全の為、手袋を着用してください。
- 小さなお子様がご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険がある場所には設営しないでください。
- 台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。
- 電線の近くで組み立てや設営をしないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
- 本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。
- 組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際は、水はけがよく平らな場所を選んでください。
- 石や小枝などのテント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- ペグやロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。
- 風の強い時はテント、タープを設営しないでください。本体が飛ばされて本体が破損したり人に怪我を負わせるなど、思わぬ事故の原因となります。

収納、保管について

- 使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- 本体や収納袋は洗濯しないでください。
- 幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

シームシーリング剤による目止めについて

製品の構造上、雨量によっては縫い目やジッパーの合わせ目から浸水する場合があります。必要に応じて縫い目にシームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。また定期的に点検をおこない、シームシーリング剤が剥離してしまった場合には塗布し直してください。

結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度（湿度）が高くなった場合に起こりやすく、定期的に換気をおこなうことで改善することができます。

グランドシートの併用について

テントの汚れやキズ、雨水の浸水などを防ぐためグランドシート（テントの下に敷くシート）の併用をおすすめします。グランドシートがない場合は、ビニールシートやブルーシートでも代用できます。

収納、保管について

- 使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- 本体や収納袋は洗濯しないでください。
- 幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

シームシーリング剤による目止めについて

製品の構造上、雨量によっては縫い目やジッパーの合わせ目から浸水する場合があります。必要に応じて縫い目にシームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。また定期的に点検をおこない、シームシーリング剤が剥離してしまった場合には塗布し直してください。

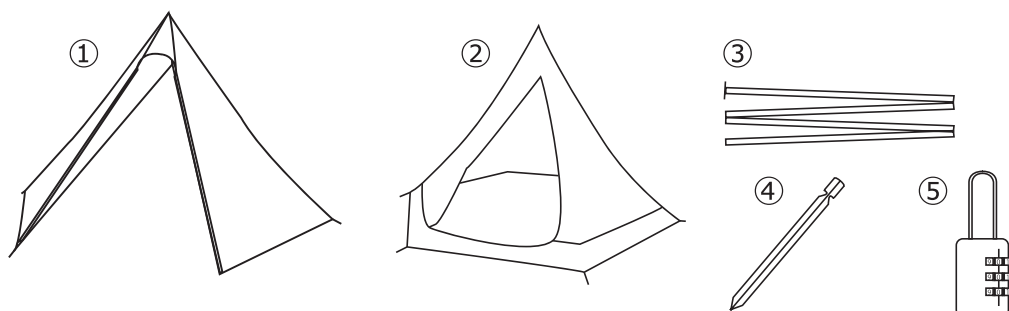
結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度（湿度）が高くなった場合に起こりやすく、定期的に換気をおこなうことで改善することができます。

グランドシートの併用について

テントの汚れやキズ、雨水の浸水などを防ぐためグランドシート（テントの下に敷くシート）の併用をおすすめします。グランドシートがない場合は、ビニールシートやブルーシートでも代用できます。

各部の名称およびセット内容



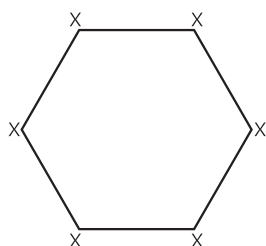
- ① フライシート
- ② インナーテント
- ③ ポール
- ④ ペグ
- ⑤ ダイヤル式ロック

製品仕様

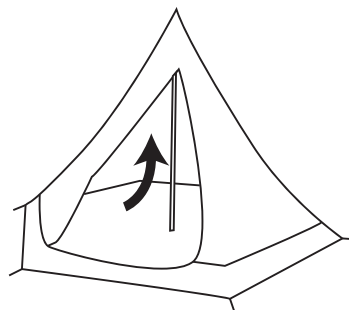
【組立サイズ（外寸）】	（約） W2800 × D2425 × H1700mm
【インナーサイズ】	（約） W2700 × D2325 × H1700mm
【収納サイズ】	（約） 500×直径150mm
【重量（付属品含む）】	（約） 2.8Kg
【材質】	生地：ポリエステル ポール：スチール
【原産国】	中国

< 設営方法 >

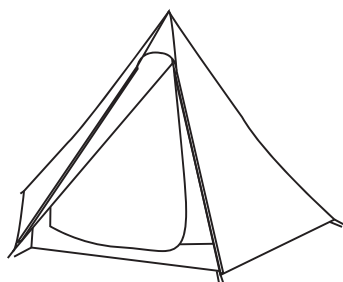
※製品ページ上でも設営・撤収方法は詳しく見ることができます。



1. インナーテントをキャリーバッグから取り出し、地面に広げます。
各辺ができるだけ引っ張られた状態になるように、左図のX部分をペグで固定します。

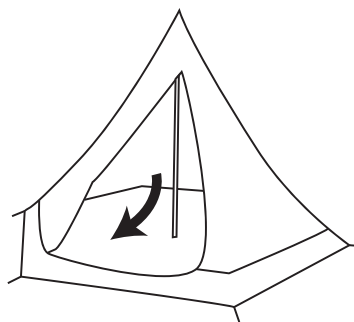


2. ポールを組み立て、インナーテントの中心に差し込みます。
ポール先端が平らな方が下(地面側)になります。
上(天井側)に向けたポール先端をテント頂点に合わせ、
地面側のポール先端をテント中央に滑りこませてください。



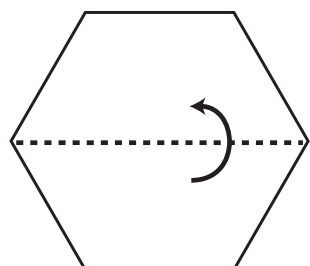
3. フライシートを被せて、インナーテントと同様に角をペグで固定します。
サイドに付属しているロープをペグで固定すると、
より強度や通気性を向上させることができます。

< 収納方法 >

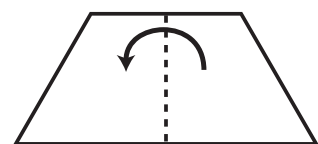


- 1.撤収前に本製品をよく乾燥させてください。
使用場所で乾燥ができない場合は、帰宅後速やかに乾燥させてください。

- 2.フライシートのペグを外して、フライシートを外してください。
その後ポールをインナーテントから外し、
インナーテントのペグも外してください。

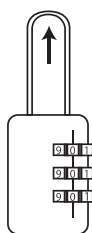


- 3.フライシート、インナーテントをそれぞれ地面に広げ、
真ん中から2つ折りをしていきます。
キャリーバッグの幅に合うまで折りたたんでください。

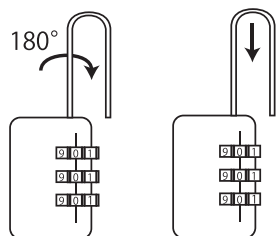


- 4.折りたたんだポール、ペグを包むようにフライシートとインナーテントを丸め、
キャリーバッグに収納します。

< ダイヤル式ロックの使用法 >



- 1.解除ダイヤルの初期設定は「000」のなっています。
ダイヤルを「000」に合わせ、フック部分を引き上げます。



- 2.引き上げたフックを180°回転させ、本体部分に押し込みます。
この状態で設定したいダイヤルナンバーに設定してください。
設定後フック部分を引き上げます。

◎必要に応じてテントの入口ファスナーを施錠する際にご使用ください。
※盗難抑制効果はございますが、盗難防止を保証するものではありません。
※設定したダイヤルは忘れないようにしてください。